

# 若者による若者のための 投票率アップチームメンバー募集

## 【募集対象】

関市内の大学、専門学校に在学する人（20歳未満も可）または20歳代で関市に在住で、活動にボランティアで協力できる人（10名程度）  
随時募集し、どの時点でも参加可能とします。



## 【募集方法】

平成26年9月より募集を開始。

- ・広報せき、HP、FB、ツイッター
- ・学校等向け（チラシ、卓上ポップ募集広告）

中部学院大学、岐阜医療科学大学、中日本航空専門学校にチラシ等を設置。  
大学祭において、“めいすいくん”（着ぐるみ）を活用したアピールを実施。

## 【活動の内容】（予定）

- ① 常時啓発  
成人式（1月）や学園祭での啓発、学習会や他団体との交流、  
中・高校生への「啓発出前講座」
- ② 選挙時啓発  
選挙前や選挙期間中に明るい選挙推進協議会とも連携して啓発活動  
（※27年度 統一地方選（4月）、市長選（9月））
- ③ 選挙事務  
期日前投票事務、投票立会人（期日前）に参加（有償）
- ④ 研修、学習等  
市議会の傍聴  
参加型学習会の開催（明るい選挙推進協会の支援事業を活用）の検討
- ⑤ 定例会への参加  
月1回程度の定例会（会議）を実施

## 【活動の紹介】

ブログ関らら日記、広報せきなどで随時紹介します。  
報道機関への事前告知などを実施します。

# 「政治ってなに?」「選挙ってなんだろう?」

## ～ 学生による選挙啓発事業 に取り組みます! ～

若年層の投票率の低下が著しく、若者の政治や選挙への関心の低下が主要因とされています。そこで同世代の学生（大学生、専門学校生）などが、政治意識の向上と投票率の高める活動をすることで、若者の政治及び選挙への関心を高めたいと考えます。また関わる学生などが企画・運営に携わることにより、リーダーとして成長することを願います。

市主催の啓発事業とも連携しつつ自主的な啓発事業への発展をねらい、若者らしい斬新なアイデアに期待をしたいところです。また、国民投票制度において、投票権が18歳まで引き下げられることも関連させたいと考えています。

### 【若者の投票率アップ 5つのテーマ】

- ① 活動に関わることで政治・選挙の重要性を学ぶ
- ② 活動を通してリーダーとして成長する
- ③ 同世代の呼びかけで若者の政治・選挙への関心が高まる
- ④ 若者の斬新なアイデアが生きる
- ⑤ 「国民投票制度の周知啓発」を行う

### ◆この事業の背景には・・・

平成26年7月13日、第2期まちづくり市民会議において「関市がもっといいまちになるための提案書」で下記の案が提出されました。

#### 「まちづくり（議会・行政）への市民意識向上を考えよう

#### ～若者の投票率アップについて～

##### <提案>

「学生が選挙の啓発方法を考える「学生による投票率アップチームを結成」

8月19日、同会議において市選挙管理委員会として、「若者による若者に向けた効果的な広報」の提案に共感し、「学生（若者）による啓発グループ」を結成の上、若者に有効な選挙啓発事業の提案・実践を行っていく旨を回答しました。

### ◆スケジュール（平成26年度）

H26	9	活動予算の確保（9月補正予算）、募集開始
	10	会議開催（第1回）（名称、課題の検討、意見交流等）
	11	会議開催（成人式の啓発事業の検討等）
	12	会議開催（啓発事業準備等）
H27	1	成人式での啓発事業実施、会議開催
	2	会議開催（統一地方選啓発事業の検討等）
	3	会議開催、街頭啓発の実施

# 若者による若者のための



# 投票率アップ作戦チームメンバー募集

(仮称)

- **対象** 関市内の大学・専門学校に在学する人(20歳未満も可)  
または20代で関市に在住する人で、  
活動にボランティアで協力できる人

関市が住みよいまちであるためには、みんなが  
まちに関心を持つことが大切ですよね・・・。  
まずは行動。選挙に行こう！  
投票率アップ作戦をみんなで考えてみよう！



「政治ってなに」「選挙ってなんだろう」  
よくわからないけど・・・大丈夫！  
チョットまじめに、もっと気軽に  
一緒に考えてみませんか？



## 活動内容

- ・定例会(月1回程度)で企画などを行い、選挙の啓発事業を行います。



- **申込方法** 申込用紙に記入し、FAX・メールにて

- **申込期日** 1期生：平成26年10月20日まで 以降、随時募集します

問い合わせ 関市選挙管理委員会 0575-23-6803

まちづくり(議会・行政含む)への  
市民意識向上を考えよう  
～若者の投票率アップについて～

私達に取り組む課題

若者の投票率が低い

I. 課題の背景と現状

私たちは、市民のまちづくり、特に議会・行政への関心が薄いのではないかと考え、このテーマに対して取り組み始めました。

【アプローチする課題を絞り込むまで】

このテーマにおける具体的な課題は何か、部会内でワークショップを行いました。そこで出たのが以下の3つの課題です。

1. 市民の議会への関心が薄い

議会の傍聴者が少なく、議会を見る市民が少ないとの意見が出ました。また、議会のインターネット中継もありますが、大変回線が遅く、途中で止まることが多いためなかなか見る気にならないとの意見もありました。

2. 議員の活動の内容が市民に伝わっていない

自身のホームページを作っている議員が少なく、会報誌等紙媒体での発信も多くありません。それが原因なのか、議員として何を思い考えられているのかを知り意見交換できるような場がないことについて意見が出ました。

3. 投票率が低い

市政への関心の薄さは投票率にも現れています。特に若者の投票率が低いことが挙げられます。

これらの3つは私達が日頃感じている課題です。この課題が実際はどうか、統計的な数字等からも確認すべく、行政の担当者(総務管財課、議会事務局)へのヒアリングを実施しました。

【その課題を設定した理由と根拠】

1. 行政担当者のヒアリングから分かったこと

議会事務局へヒアリングし、下記の資料を提供いただき、検討しました。



## 学生が選挙の啓発方法を考える 「学生による投票率アップチームを結成」

### <事業概要>

若者の投票率を上げる為には、若者へ向けた広報が必要となります。しかし、世代が違う人たちが若者に訴える広報を考えるのは限界があるのではないのでしょうか。

そこで、学生による学生に向けた投票率アップを訴える広報を考える事業を提案します。学生を公募し、学生の投票率アップ広報検討チームを結成。マンガ、動画、アイドル、萌えキャラ、スマホアプリ等学生の目線で、学生に伝わりやすい手法を提案します。また、どこに、どのように広報すれば効果的なのかも含め検討していきます。

### <対象者>

大学生

### <想定される実施主体>

総務管財課、選挙管理委員会

もしくは選挙管理委員会から学生チームの運営を企業やNPO、市民活動団体へ委託

### <実施方法>

■期間：選挙に広報できるようにその半年ほど前から

■募集定員：学生 10 名程度

■実施方法

- ① 学生を公募
- ② 月 1 回程度会議を実施  
会議は学生が集まりやすい場所で開催する
- ③ 制作
- ④ 広報を実施

### <予算>

・ 広報制作費	1,000 千円	
・ 学生広報費、消耗品等	100 千円	
		計 1,100 千円